

本市の鳥獣被害の現状と対策について



深澤 賢市 議員

質問.. 鳥獣被害の現状と対策について問う。カラス、カワウ被害額の推定は。

イノシシ、ハクビシン被害額は。

鳥獣捕獲による報奨金制度は。

答弁.. カラス農産物被害化推定額は14万9000円、カワウ被害は算定できず。カワウ捕獲数102羽、カラスは107羽、イノシシ、ハクビシンの内、イノ

シシは766万7000円、ハクビシン28万8000円。

本市では猟友会及び鳥獣被害対策実施隊の捕獲数102頭捕獲報奨金は日当と併せて1万8000円支払。カワウ駆除に關して漁協が中心となり営巣地把握、様々な手段を駆使している。

一般質問



小池 利雄 議員

B型肝炎の感染防止について

質問.. B型肝炎の感染防止についてお伺いいたします。

答弁.. B型肝炎は、B型肝炎ウイルス感染によって起こる肝臓の病気ですが、その感染はウイルスに感染した血液等に接触した場合に起こすことがあり、ワクチンで防ぐことのできる病気として予防接種が推進されています。国は予防接種関連省令を改正し、平成28年10月からB型

肝炎予防接種を予防接種法に基づき定期接種として実施を開始しています。対象者は平成28年4月1日以降に生まれた者で、1歳になるまでの間に、3回の接種を約5カ月の間に行うものであり接種費用は全額市が助成し、無料で受けられるようになりました。

質問.. 3歳未満児までの補助拡充についてお伺いいたします。

答弁.. 3歳児未満までの対応等につきましては、2歳未満児まで半額ではありませんでしたが、金額的に大きなものでもないことと、あとは過渡期ということも考えていきますと、前向きに検討していく必要はあるかと思えます。市役所内で検討して、そういった方向で進めていければと思います。